

書道三 第三回課題(五月十一日)

教科書 書目『P105-111 開通褒斜道刻石』を今回の課題とします。

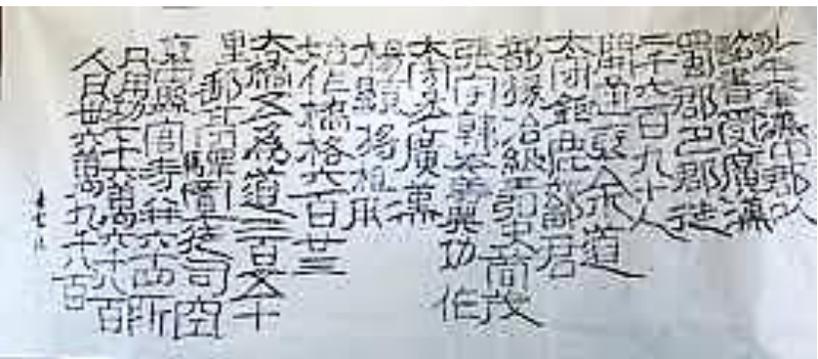
めあて

- (1) 古隷を知ること、篆書から隷書体への移行を感じる。
- (2) 開通褒斜道刻石の文字を組み合わせたような造形美を体験する。

学習

- (1) 教科書P105を読んで、開通褒斜道刻石についてまとめましょう。

摩崖碑というのは、磨かれた石ではなく、自然の岩に文字を彫ったものです。スケールの大きな書が多いのですが、拓本をとると岩肌が拓本にあらわれるため、文字を読み取るのが難しいかもしれません。現代の人が臨書したものを左にあげておきますが、教科書を見て、文字を感じ取って書いてください。隷書の中でも古いもので、波磔とよばれる横画のはらはほとんど見られません。二枚目に全臨しましょう。用具は、小筆・筆ペン・鉛筆など何でも可



\*二枚目の紙については、大きさがA4用紙で形式が同じであればどんな用紙でもかまいません。

一、開通褒斜道刻石について教科書の本文をまとめましょう

二、全部書いて、配置や布字の造形美を表現してみましよう。